

SONY

2009年3月期 中間報告書

Interim Report

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。

ソニーグループの2008年度上半期(2008年4月1日から2008年9月30日まで)の連結業績は、ゲーム事業の収益性が改善したものの、米ドルに対する円高や日本の株式相場下落の影響などにより、売上高・利益ともに前年同期の水準を下回る結果となりました。

2008年度の中間配当金につきましては、本年5月に発表いたしましたとおり、前年度の中間配当金12円50銭に対し、普通配当として7円50銭の増配、および10円の特別配当を実施し、1株につき30円とさせていただきます。

本年9月以降、経済情勢は急激に悪化し、円高の進行、株式市況の大幅な下落など、世界の経済情勢は想像を絶する変化を見せております。また、私どものビジネスにもこれら環境の変化による大きな影響が出始めており、2008年度の連結業績見通しを大幅に下方修正せざるをえないなど、かつてない厳しい事業環境に直面しています。

私どもは、2005年6月にソニーグループの経営を引き継いで以来、経営体質の強化に取り組み、前年度は売上高・純利益ともに過去最高を達成するなど、一定の収益レベルを確保する基盤は整ったと考えております。今回の難局はかつてないマグニチュードの事態ですが、これまでの体質強化をベースに、さらなる固定費の削減、在庫管理の徹底、投資計画の見直しなどの緊急対策を実施し、この難局に立ち向

かってまいる所存です。

また、中期的には、本年6月に「ネットワーク対応のコンシューマーエレクトロニクスとエンタテインメントを提供するグローバルなリーディングカンパニー」をめざして、2008年度から3か年の経営方針を発表し、営業利益率やROE(株主資本利益率)などの財務戦略目標を設定しました。コアビジネスのさらなる強化、ネットワーク関連施策の推進、急成長する新興市場におけるビジネス拡大に向けた諸施策を着実に実行し、さらなる成長と利益創出の実現に全力を挙げて取り組んでまいるのでございます。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2008年11月



代表執行役 会長 兼 CEO
ハワード・ストリンガー

代表執行役 社長 兼 エレクトロニクスCEO
中鉢 良治

中鉢 良治

目次

contents

- 1 株主の皆様へ
- 3 業績ハイライト
- 6 ビジネス別営業の概況

1

- 17 主要連結財務データ
- 18 取締役および執行役

- 19 株式の状況

- 20 株主アンケート結果のご報告

- 21 株券電子化についてのお知らせ

- 22 株主メモ

2

業績ハイライト

2008年度上半期連結業績

売上高および営業収入	4兆 513億円	(-0.2%)
営業利益	845億円	(-63.7%)
うち、持分法による投資利益	34億円	(-92.1%)
税引前利益	702億円	(-67.3%)
中間純利益	558億円	(-60.2%)

* () は前年同期比

当上半期の売上高および営業収入(売上高)は、ゲーム分野で売上が増加しましたが、映画分野における劇場興行収入の減少、金融分野における日本の株式相場の大幅な下落の影響などにより、前年同期に比べ0.2%減少しました。

利益面では、ゲーム分野で営業損失が大幅に縮小したものの、エレクトロニクス分野と金融分野がともに大幅な減益となり、営業

利益は前年同期に比べ63.7%減少しました。

なお、前年同期の営業利益には、旧本社跡地の一部の売却益607億円が含まれています。

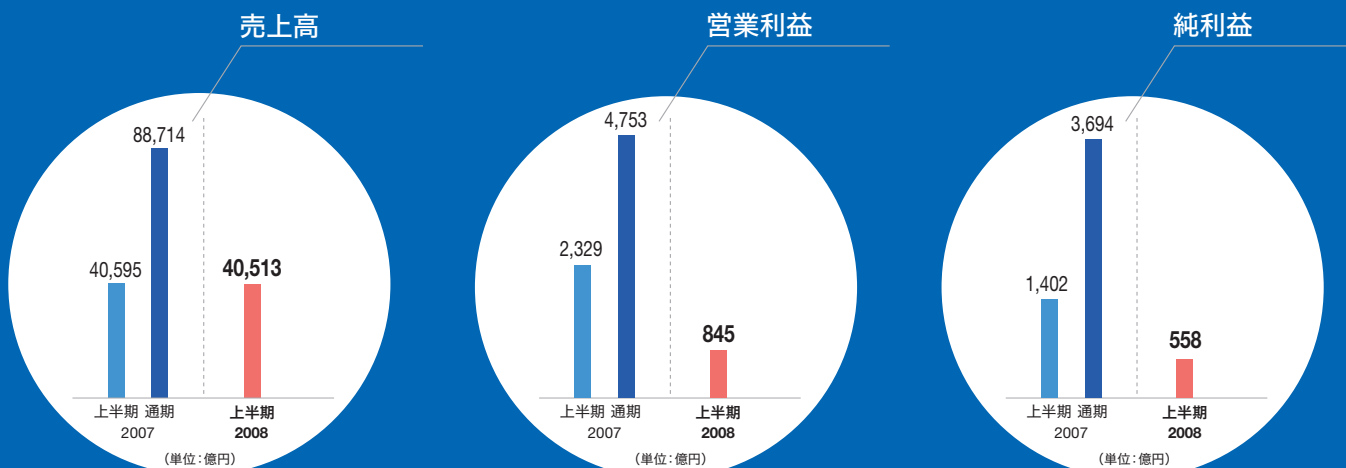
また、営業利益に含まれる持分法による投資利益は、前年同期に比べ92.1%減少しました。これは、主として、ソニー・エリクソン(携帯電話事業の合併会社)における持分法による投資損益が、価格競争の激化や普及価格帯製品の構成比が高まったことなどにより、前年同期の388億円の利益に対して、当上半期は10億円の損失を計上したことによるものです。

中間純利益は、前年同期に比べ60.2%減少しました。

2008年度中間配当金

2008年10月29日開催の取締役会決議により、1株につき30円(普通配当20円、特別配当10円)とし、本年12月1日を支払開始日とすることを決定しました。

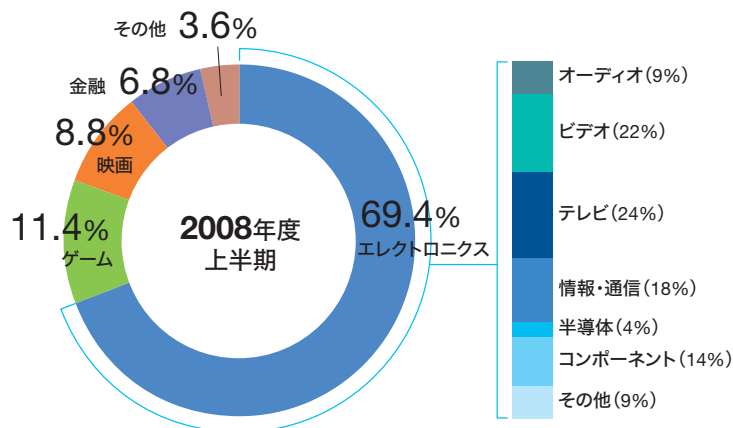
3



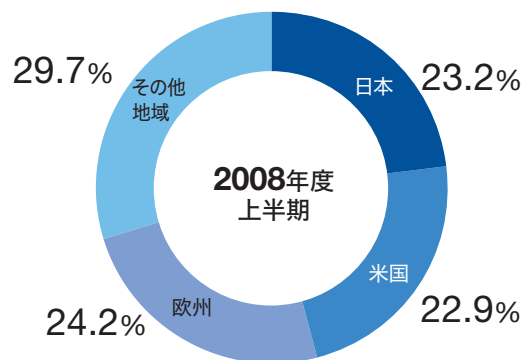
4

売上高構成比

ビジネス別



地域別



(注1) ビジネス別および地域別の売上高構成比は、外部顧客に対する売上高にもとづいて算出したものです。

(注2) 地域別の売上高構成比は、顧客の所在地別に表示されています。

5

ビジネス別営業の概況

以下の説明における各分野の売上高はセグメント間取引消去前のもので、各分野の営業利益(損失)は配賦不能費用控除・セグメント間取引消去前のものです。

売上高

	2007年度上半期	2008年度上半期	増減率
	億円	億円	%
■ エレクトロニクス	30,924	30,924	+0.0
■ ゲーム	4,400	4,982	+13.2
■ 映画	4,210	3,557	-15.5
■ 金融	3,423	2,837	-17.1
■ その他	1,794	1,824	+1.7
■ 配賦不能費用控除・セグメント間取引消去	(4,156)	(3,611)	-
■ 連結	40,595	40,513	-0.2

営業利益(損失)

	2007年度上半期	2008年度上半期	増減率
	億円	億円	%
	2,308	1,200	-48.0
	(1,259)	(340)	-
	83	27	-67.2
	569	53	-90.7
	195	103	-47.4
	433	(198)	-
	2,329	845	-63.7

6

エレクトロニクス分野

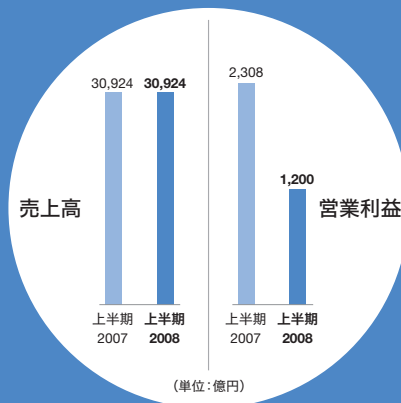
オーディオ、ビデオ、テレビ、情報・通信、半導体、コンポーネントなどから構成されています。

売上高(3兆924億円) 前年同期並み

- 外部顧客に対する売上は前年同期比2.1%の増加
- 米ドルに対する円高によるマイナスの影響があったものの、分野全体では前年同期並みの売上高を計上
- 製品別では、全地域で販売台数が増加した液晶テレビ「BRAVIA」、デジタル一眼レフカメラ「α」などが増収

営業利益(1,200億円) 前年同期比48.0%の減少

- 単価下落による原価率の悪化、ソニー・エリクソンに関する持分法による投資損益の悪化などにより減益
- 製品別では、液晶テレビ「BRAVIA」、イメージセンサーなどの損益が改善、コンパクトデジタルカメラ「サイバースhots」、PC「VAIO」、ビデオカメラ「ハンディカム®」などは減益



製品ラインアップ

製品の詳細につきましては、ソニー製品情報ウェブサイト (<http://www.sony.jp/>) をご覧ください。

世界初の感動は「BRAVIA」から

「最薄」ZX1シリーズ



KDL-40ZX1

最薄部9.9mmという世界最薄*のデザインを実現しました。ワイヤレス伝送機能の搭載により、周辺機器との配線にとらわれない、自由な室内レイアウトが可能です。

*民生用液晶テレビとして(2008年8月発表時点)

「4倍速」W1シリーズ



KDL-46W1

世界初*となる4倍速動画表示機能により、動画の残像感をいっそう低減し、動きの速いスポーツシーンもくっきり・なめらかに映し出します。

*2008年8月発表時点

「最高画質」XR1シリーズ



KDL-55XR1

RGB LEDバックライトシステムの部分制御技術などの導入により、「BRAVIA」史上最高のコントラスト比100万:1以上を実現しました。



**ブルーレイディスクレコーダー
BDZ-X100**

新開発の高画質回路「CREAS(クリアス)」を搭載し、デジタル放送やブルーレイディスクソフトなどのハイビジョン信号をより鮮鋭感、立体感のある高階調映像に生成します。



**PC「VAIO」type T
VGN-TT70B**

世界最小・最軽量*のブルーレイディスクドライブ搭載ノートPCです。コンパクトサイズながら、高色純度「クリアソリッド液晶」による高画質に加え、クリアで臨場感ある高音質を実現しました。

*2008年9月発表時点



**「ウォークマン®」
NW-S630FKシリーズ**

本体と一体感のあるキュートなスピーカーを付属し、家ではスピーカーで、外ではヘッドホンで、気軽に高音質な音楽を楽しめます。



**AVCHD デジタルハイビジョン“メモリースティック”
「ハンディカム®」 HDR-CX12**

動画と同時に笑顔の写真を自動で撮影できる「スマイルシャッター」機能を世界で初めて*搭載した手のひらサイズのビデオカメラです。

*ビデオカメラとして(2008年6月発表時点)



**デジタルカメラ
「サイバershott」 DSC-T77**

有効1010万画素、光学4倍ズーム、光学式手ブレ補正機能を搭載しながらも、最薄部13.9mmというコンパクトボディに仕上げました。



**レンズ交換式デジタル一眼レフカメラ
「α900」 DSLR-A900**

世界最高*の有効2460万画素35mmフルサイズCMOSセンサー、世界初*のフルサイズ対応ボディ内蔵手ブレ補正機能、視野率約100%ファインダーなどを搭載した「αシリーズ」の最上位機種です。

*2008年9月発表時点



ソニーは、HD(High Definition)/ハイビジョン対応商品の中でも一歩進んだ、よりきめ細やかな高画質映像を扱える商品群を広く揃えています。「Full HD 1080」は、垂直画素(走査線)数 1080画素(本)以上のHD映像を記録、編集または表示、再生可能な民生用ソニー商品を示しています。

ゲーム分野

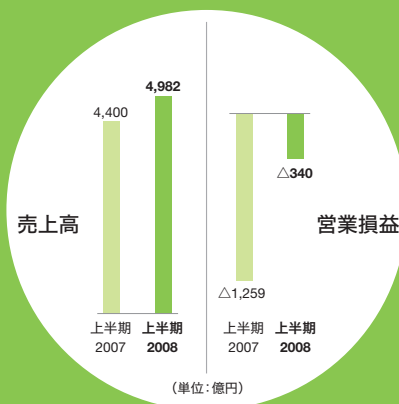
(株)ソニー・コンピュータエンタテインメントによる家庭用ゲーム機およびソフトウェア事業で構成されています。

売上高(4,982億円) 前年同期比13.2%の増加

- ハードウェアについては、「プレイステーション 3」(PS3)およびPSP®「プレイステーション・ポータブル」(PSP)の売上数量の増加にともなう増収により、全体で増収
- ソフトウェアについては、PS3およびPSP用ソフトウェアの増収があったものの、「プレイステーション 2」用ソフトウェアの減収により、全体で減収

営業損失(340億円) 前年同期比918億円の改善

- PS3ハードウェアのコスト改善およびソフトウェアの売上の増加にともない、PS3ビジネスの損益が改善したこと、PSPハードウェアの販売が好調だったことにより、分野全体で損失が大幅に縮小



「プレイステーション 3」
(CECHL00)

80GBの大容量HDDと振動機能対応のワイヤレスコントローラ(DUALSHOCK®3)を標準装備したPS3の新モデルが登場。PS3ならではのゲーム、ブルーレイディスクの映画ソフトはもちろんのこと、拡充するネットワークサービスなどもより快適にご利用いただけます。



PlayStation®Home

高解像度の3D空間の中でユーザー同士が会い、ゲームやコミュニケーションを楽しめる、PS3の新しい「遊び場」であるPlayStation®Home。オープンβサービスを2008年内に開始し、PS3ユーザーの皆様のゲーム体験を上げてまいります。



PSP®「プレイステーション・ポータブル」
(PSP-3000シリーズ)

さらに進化したPSP。圧倒的な映像クオリティを追求した液晶ディスプレイを搭載。従来以上に自然で色鮮やかな映像が楽しめるほか、明るい場所でも画面が一段と見やすくなりました。また、内蔵マイクの標準搭載で対応ゲームソフトやSkype™を手軽に楽しめます。

*製品・サービスの詳細につきましては、プレイステーション®公式サイト (<http://www.jp.playstation.com/>) をご覧ください。

©2008 Sony Computer Entertainment Inc. All rights reserved.
Design and specifications are subject to change without notice.

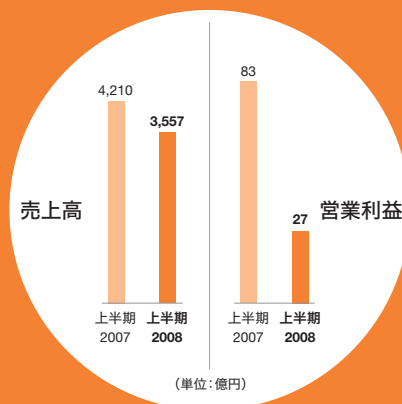
米国を拠点とするソニー・ピクチャーズエンタテインメントによる映画およびテレビ番組などの事業で構成されています。

売上高(3,557億円) 前年同期比15.5%の減少

- 前年同期に「スパイダーマン3」が全世界において好調な劇場興行収入を計上したのに対し、当上半期にはこれに匹敵する規模の劇場公開作品がなかったことにより映画作品の売上が減少し、分野全体で減収
- 当上半期の売上に貢献した劇場公開作品：「ハンコック」、「Step Brothers」、「You Don't Mess with the Zohan」など

営業利益(27億円) 前年同期比67.2%の減少

- 欧州のケーブルテレビ・チャンネルの売却にともない持分法による投資利益が増加したものの、劇場興行収入の減少などにより、分野全体で減益



007/慰めの報酬

© 2008 Danjaq, LLC, United Artists Corporation & Columbia Pictures Industries, Inc. All rights reserved.

ダニエル・クレイグがジェームズ・ボンドを演じる、「007」シリーズの22作目です。前作「007/カジノ・ロワイヤル」では終わらない、ジェームズ・ボンドの孤独で壮絶な戦いと、さらなる葛藤が始まります。(2009年1月 日本公開予定)



セブン・パウンズ(原題)

© 2008 Columbia Pictures Industries, Inc. All rights reserved.

ウィル・スミスが「幸せのちから」の監督と再び組んで贈る感動作。ウィル・スミス演じるベン・トーマスが、重大な秘密を抱えながら、ある目的をもって7人の見知らぬ他人を選び出し、自らの正体を明かさずに彼らの人生を変えていきます。ラストで全ての謎が明かされる時、その衝撃が見る人すべての胸を打つ感動ドラマです。(2009年2月 日本公開予定)



天使と悪魔

© 2008 Columbia Pictures Industries, Inc. All rights reserved.

「ダ・ヴィンチ・コード」の製作スタッフが、ダン・ブラウンの同名ベストセラー小説を映画化します。トム・ハンクス演じるハーヴァード大学の宗教学者が、ヴァチカンを舞台に、ある紋章をめぐる殺人の真実と盗まれた化学物質の行方を探るミステリーです。(2009年5月 日本公開予定)

金融分野

ソニー生命保険(株)(ソニー生命)、ソニー損害保険(株)、ソニー銀行(株)などを傘下におくソニーフィナンシャルホールディングス(株)(SFH)および(株)ソニーファイナンスインターナショナルによる金融事業で構成されています。

金融ビジネス収入(2,837億円) 前年同期比17.1%の減少

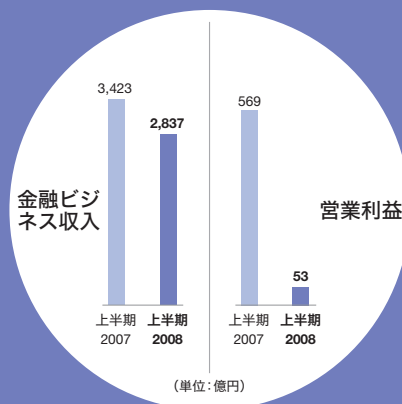
- ソニー生命の減収により、分野全体で減収
- ソニー生命の収入は、保有契約高の堅調な推移により保険料収入は増加したものの、日本の株式相場が大幅に下落した結果、転換社債の評価損益の悪化および株式の減損の増加があったことなどにより減収

営業利益(53億円) 前年同期比90.7%の減少

- ソニー生命の損益が上記の要因により大幅に悪化し、分野全体で減益

*上記のソニー生命の業績は米国会計原則に則って算出されていますので、SFHおよびソニー生命が日本の会計原則に則って個別に開示している業績とは異なります。

*SFHは2007年10月に東京証券取引所市場第一部へ上場しましたが、上場後もソニー(株)が株式の60%を保有する連結子会社です。



その他

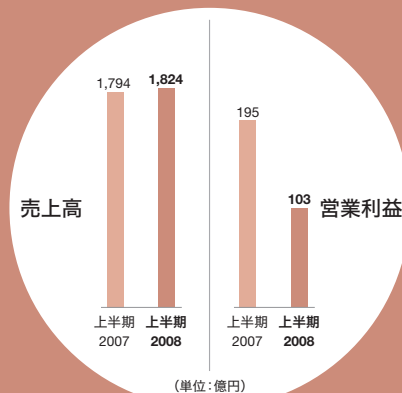
(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント(SMEJ)による音楽制作事業、ソネットエンタテインメント(株)(So-net)によるネットワークサービス関連事業、広告代理店事業などで構成されています。

売上高(1,824億円) 前年同期比1.7%の増加

- パッケージメディアの音楽市場の縮小にともなうアルバム売上の減少などによりSMEJが減収となったものの、So-netにおける光ファイバーを中心とするブロードバンド接続サービスの課金収入の増加、音楽ビジネスにおける著作権侵害にともなう賠償金請求に関する和解金収入の計上などにより、分野全体で増収
- 当上半期の売上に貢献した音楽作品: YUIの「I LOVED YESTERDAY」、ORANGE RANGEの「PANIC FANCY」、加藤ミリヤの「TOKYO STAR」など

営業利益(103億円) 前年同期比47.4%の減少

- ソニー BMG (音楽制作事業の合弁会社)に関する持分法による投資損益の悪化、SMEJの減収などにより減益



*2008年10月1日、ソニーは、独ベルテルスマン社が保有するソニーBMGにおける全持分の50%の取得を完了しました。新会社はソニーの連結対象会社となり、社名をソニー・ミュージックエンタテインメントに変更する予定です。

主要連結財務データ

	2006年度		2007年度		2008年度
	上半期	通期	上半期	通期	上半期
売上高および営業収入	3,598,415	8,295,695	4,059,547	8,871,414	4,051,349
営業利益	29,558	150,404	232,904	475,299	84,487
税引前利益	51,249	180,691	214,793	567,134	70,229
中間(当期)純利益	33,971	126,328	140,170	369,435	55,793
基本的1株当たり中間(当期)純利益(円)	33.93	126.15	139.79	368.33	55.60
設備投資額	224,080	414,138	170,798	335,726	184,751
研究開発費	262,855	543,937	257,724	520,568	256,590
総資産	11,143,645	11,716,362	12,470,860	12,552,739	12,972,416
純資産	3,236,745	3,370,704	3,508,858	3,465,089	3,431,916
1株当たり純資産(円)	3,232.47	3,363.77	3,498.37	3,453.25	3,419.98

(注) ソニーは、2008年度より、持分法による投資損益を営業利益の一部として表示しています。これにともない、本報告書における過年度の営業利益(各分野の営業利益を含む)および税引前利益を2008年度上半期の表示に合わせて組み替え再表示しています。

17

取締役および執行役 (2008年11月1日現在)

取締役	
Howard Stringer ハワード・ストリンガー	中 鉢 良 治
井 原 勝 美	*小 林 陽太郎
*橘・フクシマ・咲江	*宮 内 義 彦
*山 内 悦 嗣	*Peter Bonfield ピーター・ボンフィールド
*住 田 笛 雄	*張 富 士 夫
*安 田 隆 二	*内 永 ゆか子
*矢 作 光 明	*謝 正 炎 サンヤン・シェー
*Roland A. Hernandez ローランド・ヘルナンデス	

執行役	
代表執行役 会 長 (CEO)	*Howard Stringer ハワード・ストリンガー
代表執行役 社 長 (エレクトロニクスCEO)	*中 鉢 良 治
代表執行役 副社長 (コンシューマプロダクツグループ担当)	*井 原 勝 美
執 行 役 副社長 (セミコンダクタ&コンポーネントグループ担当)	中 川 裕
執 行 役 E V P (CFO)	大根田 伸 行
執 行 役 E V P (技術戦略、知的財産、エレクトロニクス事業戦略担当)	木 村 敬 治
執 行 役 E V P (ジェネラル・カウンセル)	Nicole Seligman ニコール・セリグマン

(注) ※は取締役を兼務する者です。

(注) ※は会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

18

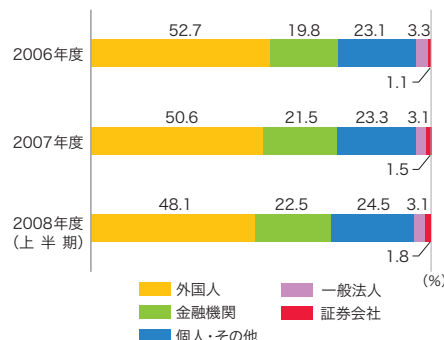
株式の状況 (2008年9月30日現在)

発行可能株式総数	3,600,000,000株
発行済株式の総数	1,004,535,364株
株主数	658,750名

単元株式数	: 100株
上場証券取引所	: (国内) 東京・大阪 (海外) ニューヨーク・ロンドン

株式の所有者別状況

	2006年度 (2007年3月31日現在)		2007年度 (2008年3月31日現在)		2008年度上半期 (2008年9月30日現在)	
	千株	名	千株	名	千株	名
外国人	528,218	1,380	508,166	1,371	483,019	1,363
金融機関	198,776	269	216,108	297	225,964	298
個人・その他	231,442	624,770	234,246	633,045	245,942	652,816
一般法人	33,163	4,054	31,101	4,108	31,339	4,144
証券会社	11,297	81	14,822	124	18,271	129
合計	1,002,897	630,554	1,004,443	638,945	1,004,535	658,750



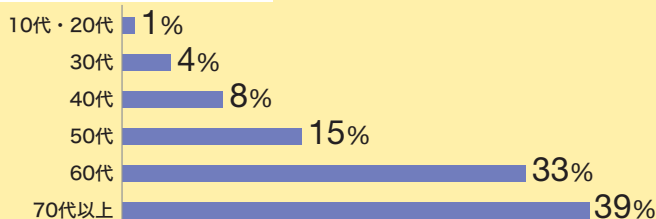
株主アンケート結果のご報告

ソニーは、株主の皆様のインターネットの利用状況を調査するために、2008年5月に全株主を対象としてハガキによるアンケートを実施し、全株主数の18.2%にあたる116,134名の方からご回答をいただきました。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

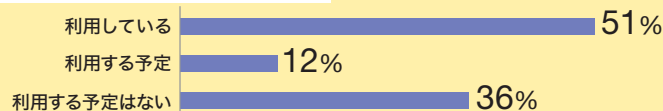
また、経営陣に対する質問・意見の中で、株主の皆様に関心が高かった「テレビ事業の収益性」「有機ELテレビの今後の展望」「株主還元」の3つの事項については、本年6月の当社定時株主総会において会長・社長より説明いたしました。

今後とも株主の皆様とのコミュニケーションの充実に努めるとともに、皆様のご意見を反映し、より良い情報提供のあり方について検討してまいります。

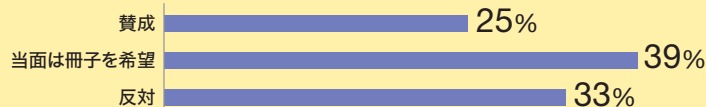
年 齢



インターネットの利用状況



インターネットでの情報提供



株券電子化についてのお知らせ

2009年1月5日(予定)より株券電子化がスタートしますが、準備はお済みですか？

当社株券をご自宅や貸金庫などで管理されている方は、早急に証券会社にご相談いただき、「証券保管振替機構(ほふり)」に株券を預託することをお勧めします。

なお、株券電子化実施日において「ほふり」をご利用でない株主様の株式は、当社が当該株主様の名義で開設する「特別口座」に記録される予定です。株券の名義が株主様ご本人の名前になっていれば、株主としての権利(配当金の受け取りなど)は確保されますが、「特別口座」に記録されたままでは株式の売却はできませんので、ご注意ください。

<株式に関するお手続きの変更>

1. 株券電子化後の株主様の各種お手続き(住所変更、配当金の振込指定、単元未満株式の買取・買増請求など)は、原則として、株主様が口座を開設されている証券会社を通じて行っていただくこととなります。なお、「特別口座」に記録される株主様のお手続きについては、従来どおり、当社の株主

名簿管理人である三菱UFJ信託銀行でお取り扱いします。ただし、お手続きの受付開始は、「特別口座」への記録が完了する2009年1月26日(月)以降となります。

2. 株券電子化前後における単元未満株式の買取・買増のご請求については、事務手続きの都合上、以下の期間において受付を停止いたします。

	単元未満株式の 買取請求	単元未満株式の 買増請求
「ほふり」を ご利用の株主様	2008年12月22日(月) ～2009年1月4日(日)*1	2008年12月11日(木) ～2009年1月4日(日)*1
「特別口座」に 記録される株主様	2009年1月5日(月) ～2009年1月25日(日)*2	2008年12月12日(金) ～2009年1月25日(日)

*1 具体的な日程については、証券会社によって異なることがありますので、口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。

*2 2008年12月25日(木)から2008年12月30日(火)までの買取請求については、買取代金(買取価格は請求日の終値を適用)のお支払いを2009年1月30日(金)とさせていただきます。

株主メモ

株式事務に関するお問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号
☎ 0120-232-711 (通話料無料)

企業情報などに関するお問い合わせ先

ソニー株式会社 IR部門 SR部
〒108-0075 東京都港区港南1丁目7番1号
☎ 0570-010-222 (株主ナビダイヤル)

*受付時間 9:30～17:30 (土日・祝日および会社休業日を除く)
*全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話・PHSなど、ナビダイヤルがご利用になれない場合：03-6748-2111 (代表)

✉ Kabu_net@jp.sony.com (株主Eメール)

投資家情報ウェブサイト

<http://www.sony.co.jp/IR/>

トップマネジメントからのメッセージやソニーグループの事業紹介をはじめ、業績や新製品・新技術などの情報をタイムリーに提供しています。

CSR・環境・社会貢献ウェブサイト

<http://www.sony.co.jp/csr/>

CSR(企業の社会的責任)に関する具体的な活動や取り組みを紹介しています。



FSC認証用紙使用

ソニー株式会社